



進路だより

”高さを仰ぎ 最善を尽くす”

令和4年 6月 1日発行

第2号

前橋工業高校 進路指導部

1 群馬県内高校生の卒業後の進路について

令和3年度末、令和2年度末の進路状況については下記の通りです。コロナ禍の影響等により就職者が減少傾向にあります。また、大学進学率は過去最高の割合となりました。本校においても、この2年間は進学する割合が増えています。

(県教育委員会進路資料より抜粋)

	大 学	短 大	専修各種学校	就 職	進学努力・その他
令和3年度末	50.0%	3.5%	20.7%	19.3%	6.5%
令和2年度末	47.1%	3.8%	22.0%	20.4%	6.7%
本 校 (令和3年度末)	27.0%	0.0%	26.6%	43.1%	3.3%

2 先生方による企業訪問について

コロナ禍ではありますが、群馬県内も警戒度1になることを踏まえ、本校では2年ぶりに職員による企業訪問を実施することとなりました。

今年度は、県内の就職実績のある事業所様を中心に約70社の訪問を予定しています。6月下旬ころに3年生の就職希望者のみなさんに最新の情報を伝えることができると思います。

是非、今後の”就活”に役立ててください。



3 教育未来創造会議を受けたこれからの大学について

令和4年5月24日に文部科学大臣よりメッセージがあり、大学等を志す子供たちや保護者にも周知してほしいと文書で通知がありました。下記に本メッセージの要旨を示します。

生徒たちに対して

- 今後5年後、10年後に向けて、入試において文系・理系の区別なく広く深い学びが評価されるようになるなど、大学が大きく変わっていくこと。
- これからの時代、理系は「男性の職場」と言った固定観念はなくなっていくことから、自分自身が興味をもてる分野、得意な分野を徹底的に追求し、自ら可能性を広げてほしいこと。

保護者に対して

- 特にIT系の人材は2030年に最大79万人も不足するという予測もあるなど、理工系学部を卒業した学生は、男性、女性を問わず産業界でも強く求められること。
- 「女子は文系」といった固定観念から離れ、子供たちの幅広い選択を支えてほしいこと。

【コラム】

** コロナの影響や回復? **

現在、ロシアのウクライナ危機などによる原材料の高騰は利益を圧迫して、ゼロコロナを維持する中国の都市封鎖で、おもに半導体や各種部品の供給不足は長期化になっている。急速な円安が経済全体に与える影響も見通しにくく、会社の業績についても不安定が続いている。

景気の見通しについても、経済が停滞しているにもかかわらず、物価が上昇し続けている。

今後、インフレ期待→消費喚起→経済活動の拡大→所得増→購買力増といった良いインフレを期待したい。



学校生活も楽しく会話できる頃に戻ってほしい!